

平成17年1月1日

(第59号)

# 鶴戸



神犬石

鶴戸神宮ホームページ <http://www.btvn.ne.jp/~udojingu/>

発行者兼編集者  
鶴戸神宮社務所

# 謹んで新年の御祝詞を申し上げます



宮司 杉田 秀清

清々しい平成十七年の年頭にあたり、新春のご祝詞を申し上げます。

聖寿の万歳をお祝いし、皇室の弥栄と国家の隆昌を謹んでお祈り申し上げます。

皆様にはお揃いで良いお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。この年のご平安とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

さて鵜戸神宮では十二月二十七日の煤払祭、運玉に願いをこめて投げ入れる亀岩の注連縄の取替え、三十一日の大祓、除夜祭と続き、新玉の年を迎える元日零時の歳旦祭、二日早朝の初日供祭、三日元始祭、七日縁日祭と次々に神事が続きます。古くより今日に至るまで連綿としてこの様な祭が継承され、深い信仰に

もとづいて祭祀が厳修されてまいりました。鵜戸神宮は霊窟に鎮まります朱のご本殿の佇いと自然と信仰とがよく調和して、社頭は多くの参拝者で股賑を極めて

います。平成十六年は非常に天災地変の多い年でした。当宮でも台風十六号十八号を含め四度の台風の被害を受け、

神門、守札庫、儀式殿、社務所等に大小様々な損害を受けました。幸いご本殿は無傷で、被害箇所は修復に務め年内に一部を除きほぼ修理を完了することが出来ました。昨年は日本列島に十個の台風が上陸した上に、新潟県中越地震が発生しました。各地の被災された方々に深くお見舞い申し上げます。社会面では暗いニュー

スが続き、世界の各地での民族間、宗教上などでの対立等で紛争が続き衝撃的なことも多く起りました。

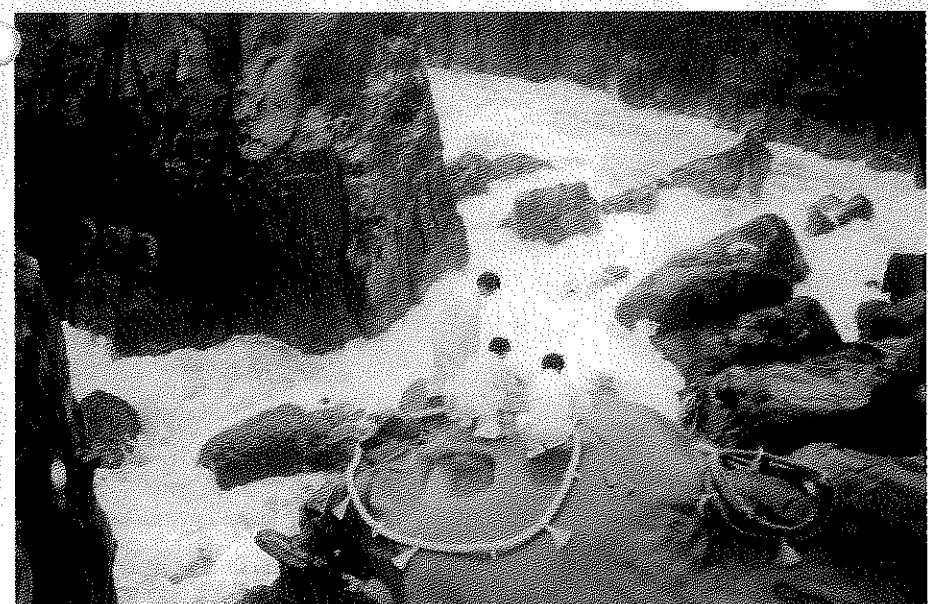
しかし、年末に紀宮殿下のご慶事が発表になり、喜ばしい明るいビッグニュースとなり新年を迎えることが出来ました。

今年こそ、今年こそよき年でありませうようにと新年には願いが強いのですが、今わたくしは、日本の素晴らしい未来にむかい、歴史や文化、伝統、習慣を大切に受けついでいくことが重要だと思います。当宮では、伝統、習慣、神事を大切にしています。今、世の中の傾向では、何やら不可解な書籍や軽薄なTV番組、報道等が氾濫しています。又理解しがたい犯罪や、つらい出来事も起っています。このまゝでは日本の将来はどうなるのかと危惧の念を持つのはわたくしだけでしょうか。

「家庭、地域、国を愛し、伝統や優れた文化、習慣、信仰を継承し、それらを広

めることにより少しでもお役に立ちたい。」私達はもつと日本の優れた文化に誇りを持つべきだと思います。お正月には、その様なものにふれるよい時期かと思っております。

氏子・崇敬者の皆様には、この年が益々よき年で、ご健勝で、幸せな年でありませう心よりお祈りして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



亀岩の注連縄取替え

## 抜穂祭 齋行

三月十八日に御田植祭を齋行。毎月十五日を御神田月次祭と定め、稲の成長を祈願してきた。

七月十五日には早くも抜穂祭が齋行され、頭を垂れ黄金色に輝いている御神田には、責任役員をはじめ多数の参列を賜った。

抜穂の儀では、齋主が抜き取った稲穂と、かすりに



赤いたすき編みがさ姿の刈女によって刈り取られた稲穂が、御神前に供えられた。

祭典終了後には、地区住民も参加し、照りつける日差しを浴び、汗だくになりながら稲刈りが行われた。

齋主が抜き取った稲穂は、十月十七日伊勢神宮で齋行された神嘗祭に懸税として奉納された。



## 新嘗祭 齋行

十二月二十三日、新嘗祭が宮中をはじめ全国の神社で齋行された。

新嘗祭は、大神様の御慮みによつて得られた新穀の収穫に感謝すると共に、国家の繁栄を祈る祭儀である。

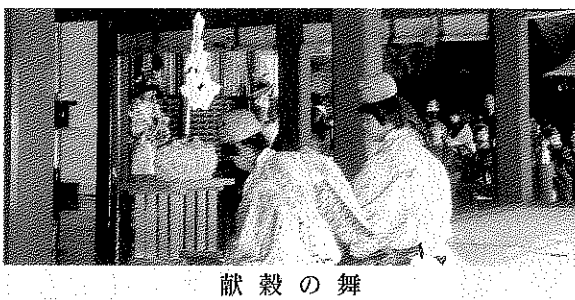
宮中の神嘉殿においては、天皇陛下が新穀を天照大神神をはじめ天神地祇にお供えになり、御自ら聞き召される重要な神事である。



榊の舞

当神宮においても、責任役員、総代をはじめ多数の参列を賜り、午前十時三十分より厳修された。

宮司祝詞奏上の後、収穫に感謝する「ごども神樂」が奏舞され、玉串拝礼では参列者一人一人が、大神様に感謝の誠を捧げていた。又、各地区より新米、鮮魚、野菜、果物、菓子等が横山の如く奉納された。



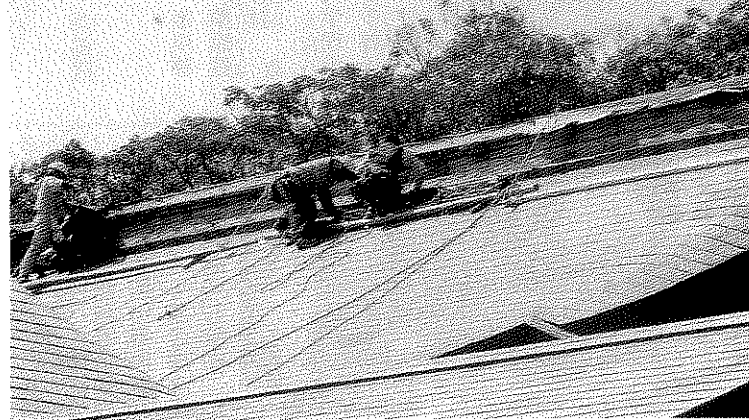
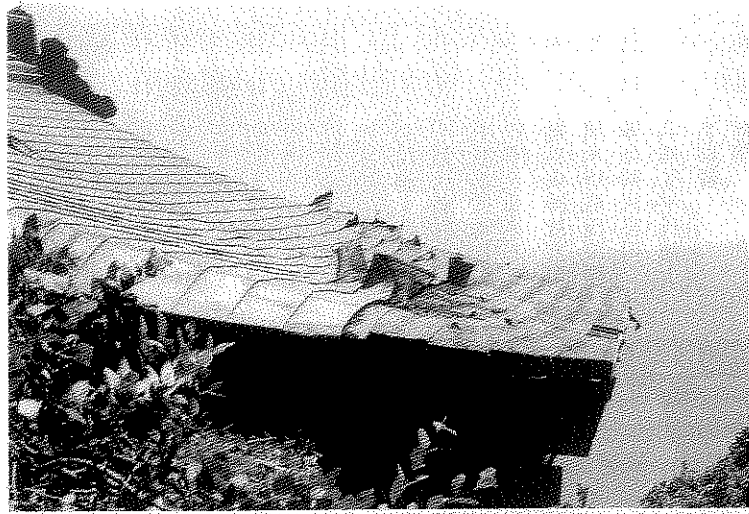
献穀の舞



鈴の舞



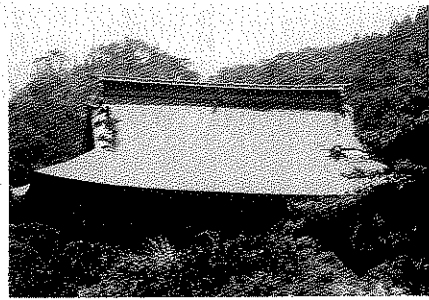
エビスの舞



今年も台風が日本に上陸し、各地に多大な被害を及ぼした。当神宮も例外ではなく、特に八月九州に上陸した台風十六号により、社務所・楼門など多数の建物が銅板破損等の被害を受けた。さらに、追いうちをか

### 災害復旧工事

けるように九月に台風十八号・二十一号、十月に二十三号が襲来。さらに被害が拡大した。十月に入り、ようやく復旧工事に着工するにいたったが、復旧は春頃までかかる見通しである。



牛尾 恭輔 成澤 豊子  
中邑 真輔 山崎 正博  
福原 康晴 中村 浩  
山本 栄子 石丸 昭彦  
松下 幸宣 高田 早苗

#### 災害復旧協賛者芳名

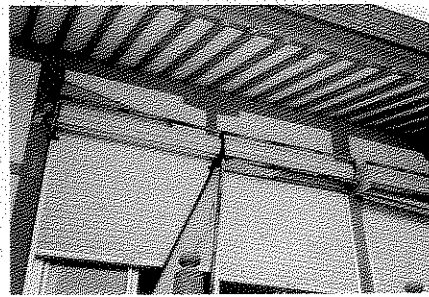
(平成十六年十月二十一日至二十日)

(敬称略)

- |        |        |
|--------|--------|
| 久保 猛征  | 内田 光夫  |
| 八重樫 徳男 | 前野 孝   |
| 甲斐 次男  | 弓削 慎次  |
| 古屋 忠義  | 橋本 親徳  |
| 立川 敬子  | 原田 信子  |
| 松田 直忠  | 古屋 義太郎 |
| 山田 安孝  | 吉森 民雄  |
| 坂田 勲   | 山田 千恵子 |
| 朝部 壽   | 上野 貞記  |
| 高橋 三穂子 | 山口 麻美  |
| 広瀬 義光  | 佐々木 勝彦 |
| 斉藤 功人  | 桑原 正則  |
| 立川 勇   | 田中 節子  |
| 島田 孝久  | 松本 香織  |
| 河合 利文  | 村山 晃照  |
| 富山 利寿  | 岡村 俊子  |
| 河野 幸子  | 鈴木 みさを |
| 北村 康代  | 轟木 ムツ子 |
| 福山 眞吾  | 馬場 勝安  |
| 川村 元昭  | 青山 利明  |
| 石井 真逸  | 安元 文子  |
| 江上 裕幸  | 鏡味 孝幸  |
| 高須 秀治  | 井手 満義  |
| 下川 修史  | 吉田 弘   |
| 菅原 幸浩  | 川原 長明  |
| 坂口 五月  | 助広 好郎  |
| 魏 曉晶   | 福永 美奈  |
| 田村 康高  | 浜崎 義博  |
| 神園 博   | 濱田 龍治郎 |
| 美馬 寛子  | 中村 初年  |
| 海老澤 建  |        |

#### 災害復旧につき御協賛のお願い

台風十六号・十八号・二十一号・二十三号により多大な被害を受けました。現在、一日も早い復旧にむけ工事が進められています。就きましては、皆様方の心暖まる御協賛をお願い申し上げます。



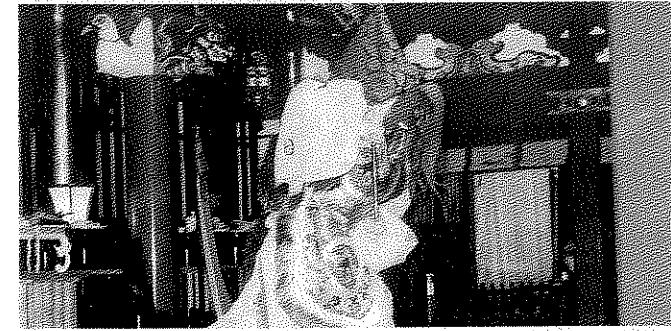
### 明治祭 秋の縁日大祭 齋行

十一月三日、明治祭並びに秋の縁日大祭が責任役員、氏子をはじめ多数の参列を賜り、午前十時三十分より齋行された。明治祭は、近代日本の礎をお築きになられた明治天皇の御偉業をたえ、御誕生の日をお祝いするお祭である。

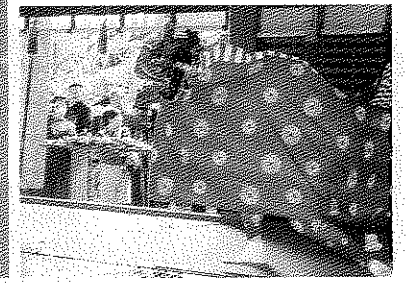


豊栄の舞

縁日大祭は古来、春三月の祭礼日に参拝者で賑ったと伝えられており、この事を奉祝し住年の賑いを呼び戻そうと、春と秋の年二回齋行されている。奉祝行事として、「豊栄の舞」、「鵜戸さん獅子舞」、舞楽「納曾利」が演舞され、参拝者を楽しませた。



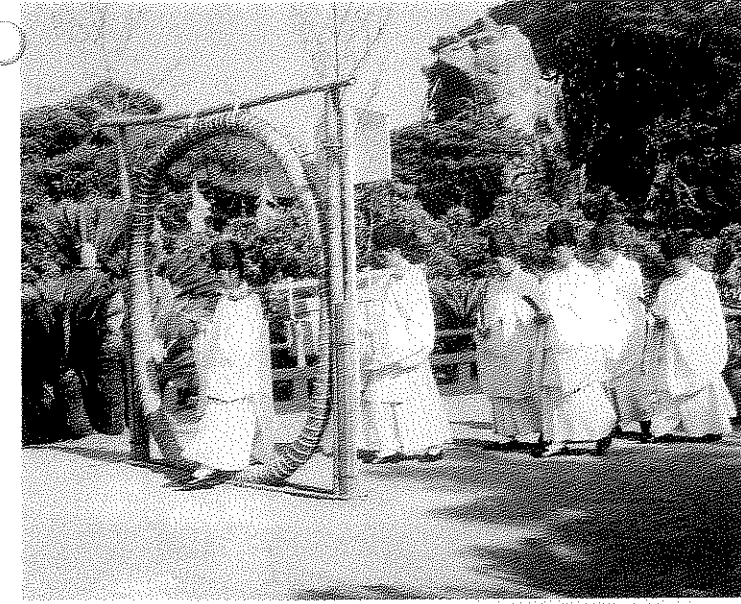
納曾利



鵜戸さん獅子舞

### 大祓式 齋行

日常生活において、知らず知らずのうちに犯した罪や穢を祓い去る大祓式が、六月三十日と十二月三十一日齋行され、多数の参列を賜り厳かに齋行された。ことに六月の大祓は、「夏越の大祓」(なごし)「六月の祓」(むつき)と呼ばれる、茅の輪くぐりの神事が行われた。宮司以下参列者全員で「水無月の夏越の祓いする人は千歳の命のふというなり」と唱えながら、茅の輪をくぐり、無病息災を祈った。



夏越の大祓「茅の輪くぐり」



# 七五三詣

古くより行われてきた七五三詣は、子供の健やかな成長に感謝し、これからの御加護を神様にお祈りする大切な人生儀式である。

一般に三歳の男女は「髪置」、五歳の男子は「袴着」、七歳の女子は「帯解」の祝いといわれている。

十一月十五日が七五三祝いの日に定着したのは、江戸幕府の五代將軍徳川綱吉の子、徳松の祝いをこの日に行なったからと伝えられている。

当神宮でも、十一月に入ると晴着姿の子供たちで賑い、元気な声が岩窟に響き渡った。



## 平成17年厄祓一覧表(但し、数え年)

女性			厄入	男性		
	昭和50年 31才		厄入		昭和41年 40才	
昭和45年 36才	昭和49年 32才	昭和63年 18才	前厄	昭和21年 60才	昭和40年 41才	昭和57年 24才
昭和44年 37才	昭和48年 33才	昭和62年 19才	本厄	昭和20年 61才	昭和39年 42才	昭和56年 25才
昭和43年 38才	昭和47年 34才	昭和61年 20才	後厄	昭和19年 62才	昭和38年 43才	昭和55年 26才
	昭和46年 35才		厄明		昭和37年 44才	

## 厄入・厄祓・厄明のご案内

厄年は人生の転機にあたり、心身共に苦勞の多い年令と言われています。  
年の始めに御参拝を賜り御祈禱を受けられまして、本年も無病息災にてお過し下さいますよう御案内申し上げます。

## 新職員紹介

巫女 小玉 佳苗

生年月日

昭和五十九年六月十九日

最終学歴

日南工業高等学校

趣味

部屋の模様替え

常の信条

やれば出来る



## 境内の植物

### ヤツデ



常緑樹林に自生し、高さ二〜三mになる常緑低木。茎は多くの場合数本集まって生える。葉は互生し、手のひら形で大きい。初冬に小さな花が、まりのように集まった花を多くつける。果実は翌年の春、黒く熟し、約8mmの大きさ。

## 辞令

巫女 平片 さやか

巫女 酒井 みゆき

巫女 磯崎 希代佳

願いによりその職をとく

(十一月三十日)